



# すまいるだより

vol 23

【子育ての相談】  
子育て世代包括支援センター  
「えがお」(健康福祉課内)  
電話 0241(62)6170  
メール egao@minamiaiizu.org

スクールソーシャルワーカー、保健師など。)に一声おかけください。  
**私** たちは、大きな変化を一緒に乗り切る方法を考えたいと思いつつ、新生活を応援しています。

**4** 月は入学や引っ越し、就職など、新しいことが始まる季節です。大人でさえ初めての体験は緊張しますから、経験値の少ない子どもは、期待と不安でいっぱいになるものです。また、子どもの中には、新しい環境の変化を敏感に感じる子もいるため、事前準備が大切になります。

願います。事前に情報が得られると、受け入れる側の支援者も準備をすることができます。

**言** 葉の伝達だけでは不安な方は、ぜひ「サポートブック」を作成してみましょう。

**サ** ポートブックは、子どもの取扱説明書のようなもので、何が得意で、どう関わるとうまくいかなどを書き留めることができます。県のホームページから「さすけねえ南会津サポートブック」がダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

**ま** た、子どもの年齢が小さいほど、先の見通しを立てることが大切です。もし環境が許されるならば、慣らし保育の期間を設けてもらうことや、活動内容をスケジュール化して伝えることも有効な手段です。

**小** 学校への入学は大きな変化です。子どもには、このコーナーで紹介するおすすめ図書「しょうがっこうがだいすき」などを参考に、学校ではどんなことをするのか、楽しみも含めて事前に伝えておくとういでしょう。

**そ** れでも、子どもが新しい環境への不安や動揺がある場合は、それはわがままではなく「安心したい」という必死な気持ちであることを忘れないでください。どうしてもうまくいかない状況が続くときは、周りにいる支援者(学校の先生や

**ま** ずは、新しく出会う支援者へ、事前に子どもの情報をできるだけ詳しく伝えることです。

**例** えば、初めて保育所に入所するときは、保育士の先生方に子どもの好きなことや苦手なこと、不安に思うことをお伝えするとよいですし、小学校に入学するときは、保護者はもちろん、保育士や幼稚園の教諭からも申し送りするようにお

**私** たちが大人も、例えば、台本の舞台が上がってくださいますよ。環境の変化に敏感な子どもが慣れた生活から一変し、先の見通しの立たない環境に置かれること

**環** 境の変化とえば、朝の過ごし方も大きく変わる場合が多いものです。時間を知



「あさですよ よるですよ」かこさとし/さく



「しょうがっこうがだいすき」うい/作  
えがしら みちこ/絵